



▲自転車で白河関を越えるサイクリストたち

2大サイクルイベント開催  
秋の白河を走り抜けた2日間

10月8日、白河駅前周辺で、『第6回サイクルロードレース「城下白河」2017』が開催されました。秋晴れの下、出場選手たちが街中のコースを周回するクリテリウムや、ランニングバイクなど4部門が行われ、大人から子どもまでイベントを楽しみました。

翌9日には、本市と西白河郡の4町村で『第3回ツール・ド・しらかわ2017』が行われ、参加者たちは白河関跡や小峰城などを自転車で巡り、地元の特産品を味わいながら、本地域の魅力を満喫しました。



▲お米のおいしい炊き方のアドバイスを受ける児童たち

出前授業『お米の学校』  
学んで、食べて、魅力を感じる

9月22日、みさか小で5年生を対象に、出前授業『お米の学校』が行われ、児童たちはお米の成り立ちや栄養価などを学び、理解を深めました。また、今回はメニューを考案した料理家の本田よう一さんが講師を務め、白河産コシヒカリを使ったおにぎりや、みそ汁を調理し、おいしく味わいました。

市では、昨年に引き続き「市産米魅力発信事業」の一環として、市内の小学生を対象にお米の学校を開催するなど、今後も本市産米の魅力を発信していきます。



▲リニューアルオープンのテープカットの様子

学校図書館リニューアルオープン  
子どもたちの読書活動を支える

10月17日、信夫二小で学校図書館リニューアルオープン記念式典が行われました。児童を代表して、図書委員長の佐藤泉美さんが「素敵なお書館で、これまで以上にたくさん本を読んでほしいです」と挨拶し、式典後、児童たちは蔵書をデータベース化した新しいシステムで、早速、本の貸し出しを体験しました。

市では、情報収集の能力育成などを目的に学校司書を配置して、読書活動を支援しています。今年度中に全小学校への配置が完了し、中学校への配置も順次拡大していきます。



▲山岸さんの演奏で、森さんと市民合唱団が共演

第21回しらかわ音楽の祭典  
美しい歌声が響き渡る

9月23日、コミネス(会津町)で『第21回しらかわ音楽の祭典』が開かれ、オペラ歌手の森麻季さんとピアニストの山岸茂人さんによるソプラノリサイタルが行われました。

訪れた観客は、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマ曲や、赤とんぼ、アヴェ・マリアなど森さんの透き通るようなソプラノの歌声に酔いしれ、市内での本格的なリサイタルに感動していました。

フィナーレでは、森さんと市民合唱団が「南湖のほとり」で、市民歌「このまちがすき」を合唱しました。



▲カイロ作りを体験する子どもたち

まるごと白河2017  
白河の魅力をまるごと発信

10月22日、白河駅前イベント広場などで『まるごと白河2017』が開催されました。

台風が接近する悪天候の中でしたが、白河実業高校プラスバンド部、光南高校応援団チアリーダー部のステージなどが会場を盛り上げ、市の代表的な食であるラーメン・そばや、山田剛嗣シェフの Pastaなどが提供されました。また、子どもたちが地元企業によるシリコン細工や、伝統技能を活かした干支の絵付けなどを体験し、白河の食と職の魅力を再発見しました。



▲表郷公民館で開催された敬老会の様子

白河市敬老会  
高齢者を敬い、長寿を祝う

9月28日、各地域で『敬老会』が行われました。市内の敬老祝い対象者は8,462人、米寿対象者は363人、金婚夫婦は50組です。

式典では、代表者へ長寿ようかんなどの祝いの品や記念品が贈呈されました。また、子どもたちによるお遊戯や、芸能団体の演奏・踊りなどが披露され、出席された皆さんは、楽しいひとときを過ごしました。

高齢者の方々が安心して生活できるように、市では高齢者サロンや、あったか訪問など、様々な福祉サービスを実施しています。